


2. 入力画面操作

構造評価、過程評価の入力方法について説明します。


 © Toshiba Solutions Corporation 2005

SkillInformation - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) リンク >> ?

看護ケアの質評価システム TOP

入力・編集・削除


2. 入力画面操作

入力・編集する時は入力・編集する定義シートを選択して、「入力・編集」ボタンをクリックしてください。定義シートが表示されます。
 入力済みのデータを削除する時は定義シートを選択して「削除」ボタンをクリックしてください。

入力・編集、または削除する定義シートを選択してください。

(1) 入力する項目を選択します。
 なお、まだ1つも入力されていない指標は(未入力)と表示されます。

ick


 © Toshiba Solutions Corporation 2005

Information - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) リンク

看護ケアの評価システム

入力: 編集, 削除
戻り

- 定義シート名: 構造評価 指標1.1
- 病院名: 兵庫成人病C
- 病棟名: 2階西病棟
- 役職: 看護師
- 氏名: 兵庫成人2西, 一般入力者D

(2) 構造評価の場合: 該当する項目を選択します。
過程評価の場合: 該当する項目及び適切な自由記述を入力します。

要/4情報の明記されている
 a 療養上の希望について記載する権がある
 b 療養上の希望について記載する権がない

現在の個々の患者に必要な情報が明記されたもの(体温表・看護記録・指示票・ケアプラン用紙)がアクセスしやすい状態にあるかどうかについてお聞きます。アクセス状況について以下の中から当てはまるものを選択してください。

112ケアに必要な個別情報が見ることができ
 a 明示したものがあり、看護者間で、定期的に、決まったケアは実施する機会が確保されている

(3) すべて入力が完了した場合、「入力完了」を選択します。
途中で入力結果を保存する場合、「中断」を選択します。

中断 | 入力完了 |

ページが表示されました

© Toshiba Solutions Corporation 2005

Information - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) リンク

看護ケアの評価システム

入力: 編集, 削除
戻り

- 定義シート名: 構造評価 指標1.1
- 病院名: 兵庫成人病C
- 病棟名: 2階西病棟
- 役職: 看護師
- 氏名: 兵庫成人2西, 一般入力者D

| 小項目 | 質問 | 回答 | 得点 |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-----|
| 11.1 現在の個々の患者に必要な情報が明記されている | 患者の個別情報を示す記録についてお聞きます。カルテまたはカードex等に患者の療養上の希望について記載する権がありますか？以下のあてはまるものを選択してください。 | <input type="radio"/> a 療養上の希望について記載する権がある | 2.0 |
| 11.2 現在の個々の患者に必要な情報が明記されたもの(体温表・) | 明示したものがあ | | |

(4) 入力内容を確認し、続けて次の質問に進みたい場合は、「続けて次の質問へ進む」を選択します。ここで、一度、終了し場合は「入力完了」を選択します。

得点率 (=総合得点/満点) 75.0%

入力完了 | 続けて次の質問に進む

A Back

Copyright Toshiba Solutions Corporation 1997-2005

© Toshiba Solutions Corporation 2005

Windows Messenger - 未接続

3. 入力内容確認操作

入力内容を確認する操作方法について説明します。



Information - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る(F9) 進む(F10) 検索 入力 戻る(F9) リンク

看護ケアの評価システム

入力: 編集, 印刷 → **3. 入力内容確認操作** 入力者D

| 定義シート | 入力状態 |
|---------------|------|
| 構造評価 指標5.1 | 入力済 |
| 構造評価 指標5.2 | 未入力 |
| 構造評価 指標5.3 | 未入力 |
| 構造評価 指標5.4 | 未入力 |
| 構造評価 指標5.5 | 未入力 |
| 構造評価 指標5.6 | 未入力 |
| 構造評価 指標5.7 | 未入力 |
| 構造評価 指標5.8 | 未入力 |
| 構造評価 指標5.9 | 未入力 |
| 構造評価 指標5.10 | 未入力 |
| 指標概要(指定 構造評価) | 未入力 |

(1) 既に入力した項目を確認できます。
 入力の漏れがないか確認してください。
 各指標をクリックすると、入力内容が閲覧できます。

ページが表示されました

© Toshiba Solutions Corporation 2005

| | | |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| | <p style="text-align: center;">資料 6</p> <p style="text-align: center;">管理者用操作説明書</p> | |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

看護ケアの質評価システム 平成16年度試行版 管理者用操作説明書



東芝ソリューション株式会社
TOSHIBA SOLUTIONS CORPORATION
SI技術開発センター

はじめに

本書は、看護ケア質評価システムの管理者の操作について説明したものです。

本システムは、「看護QIプログラム」研究会での情報システム仕様検討のための試行版システムです。

注意事項

本システムは、インターネットを利用してデータの送信を行うため、個人情報などの重要な情報は、入力しないでください。



© Toshiba Solutions Corporation 2005

操作項目一覧

1. 初期操作
2. 入力内容確認操作
3. 入力結果出力操作



© Toshiba Solutions Corporation 2005

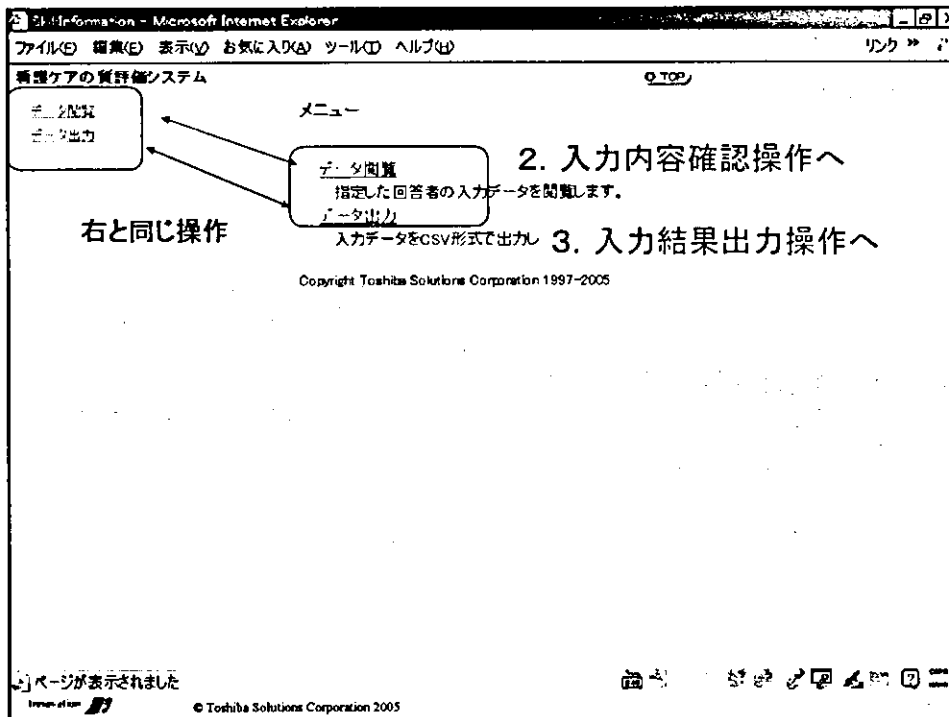
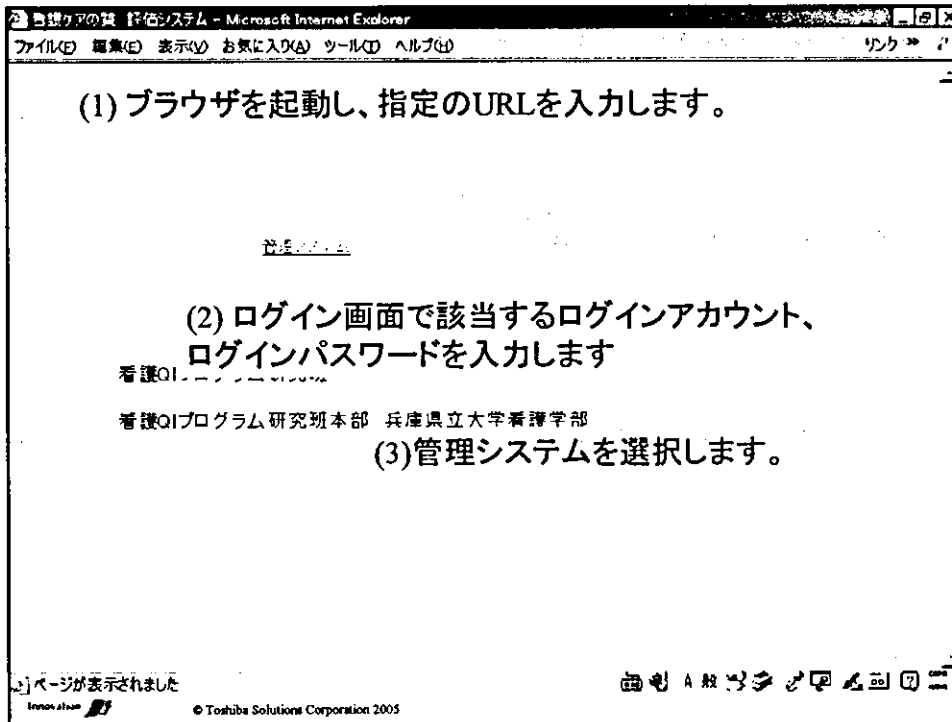
TOSHIBA

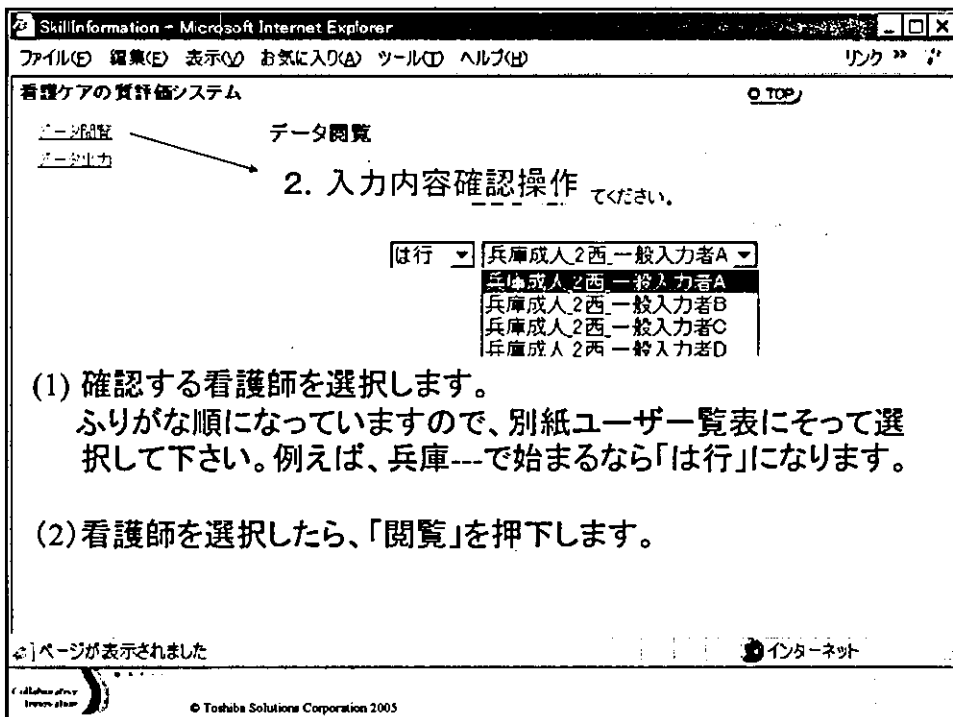
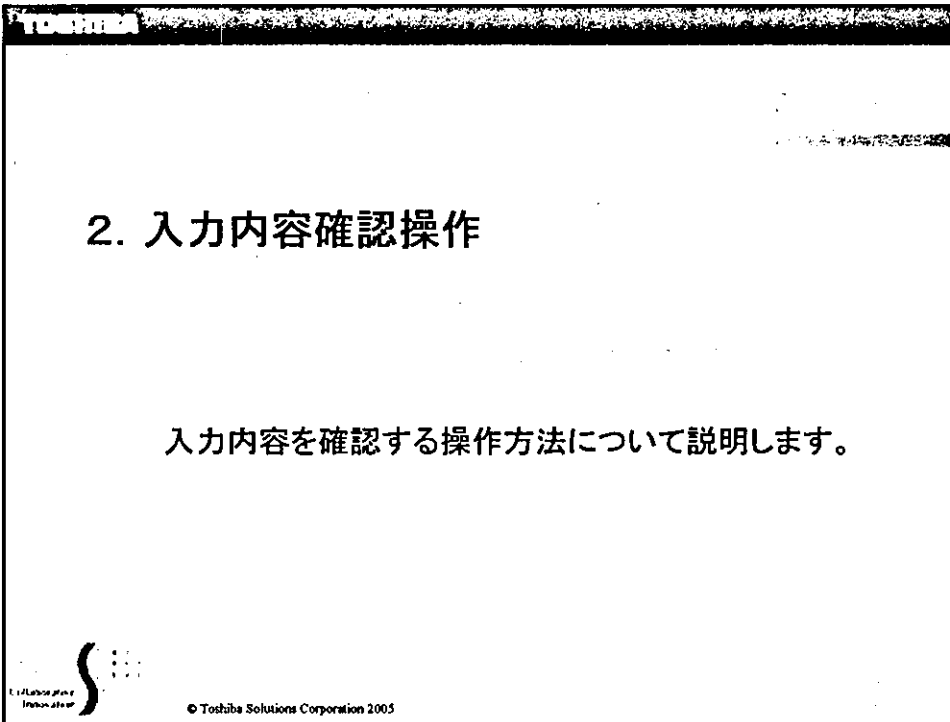
1. 初期操作

看護ケアの質評価システムの初期画面の操作方法について説明します。



© Toshiba Solutions Corporation 2005





Information - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り メディア リンク

アドレス http://pc2.t-sitc-unetocn.ne.jp/SkillInformation/top.html;sessionid=E888BC3533DD622FAE2ECA95F9A0334

看護ケアの実評価システム

ページ閲覧
ページ出力

氏名: 兵衛 成人 2 西 一般入力者D

| 定義シート | 入力状態 |
|-------------|------|
| 評価項目 指標 1.1 | 入力済 |
| 評価項目 指標 1.2 | 未入力 |
| 評価項目 指標 2.1 | 未入力 |
| 評価項目 指標 2.2 | 未入力 |
| 評価項目 指標 2.3 | 未入力 |

(3) 選択した入力者のデータが入力状態とともに表示されます。各指標をクリックすると、入力した内容が閲覧できます。

| | |
|---------------|-----|
| 評価項目 指標 3.4 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.5 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.6 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.7 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.8 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.9 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.10 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.11 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.12 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.13 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.14 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.15 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.16 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.17 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.18 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.19 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.20 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.21 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.22 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.23 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.24 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.25 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.26 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.27 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.28 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.29 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.30 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.31 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.32 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.33 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.34 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.35 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.36 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.37 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.38 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.39 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.40 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.41 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.42 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.43 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.44 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.45 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.46 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.47 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.48 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.49 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.50 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.51 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.52 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.53 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.54 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.55 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.56 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.57 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.58 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.59 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.60 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.61 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.62 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.63 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.64 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.65 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.66 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.67 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.68 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.69 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.70 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.71 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.72 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.73 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.74 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.75 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.76 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.77 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.78 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.79 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.80 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.81 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.82 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.83 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.84 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.85 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.86 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.87 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.88 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.89 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.90 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.91 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.92 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.93 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.94 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.95 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.96 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.97 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.98 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.99 | 未入力 |
| 評価項目 指標 3.100 | 未入力 |

ページが表示されました

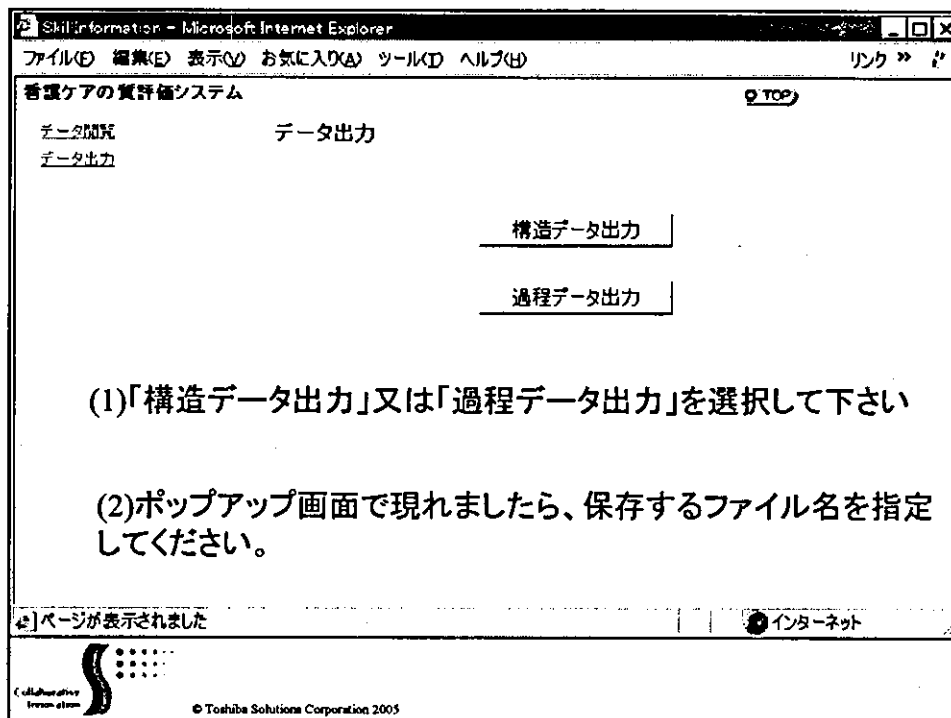
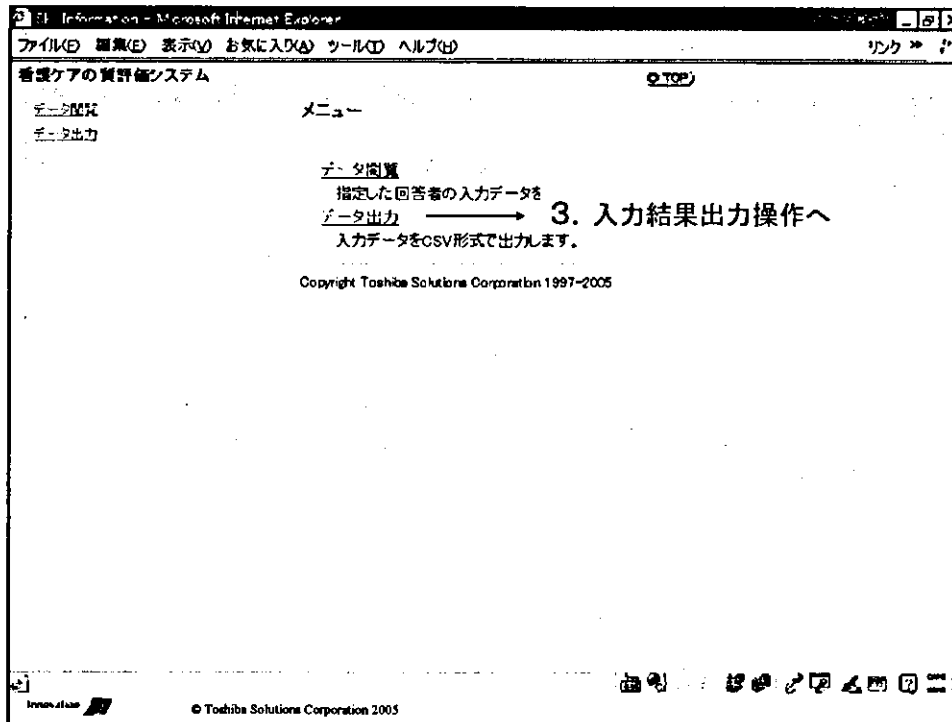
© Toshiba Solutions Corporation 2005

TOSHIBA

3. 入力結果出力操作

入力した結果を、項目単位の出力する操作について説明します。

© Toshiba Solutions Corporation 2005



MultiInformation - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) リンク

看護ケアの質評価システム [TOP](#)

データ出力

生成データステータス: 作成済み 2005/3/4 20 10 44

(1)「出力データ生成」を押下します
Copyright Toshiba Solutions Corporation 1997-2005

(2)しばらく時間がたったら、左メニューの「データ出力」をクリックします。

© Toshiba Solutions Corporation 2005

MultiInformation - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) リンク

看護ケアの質評価システム [TOP](#)

データ出力

生成データステータス: 作成中 28% 完了

Copyright Toshiba Solutions Corporation 1997-2005

(3)まだデータが作成されていない場合はパーセンテージが表示されます。

ページが表示されました
© Toshiba Solutions Corporation 2005

Information - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) リンク ** ?

普通ケアの質評価システム [TOP](#)

ホーム 設定 検索

データ出力

生成データステータス: 作成済み 2005/3/4 20:31:21

[出力データ生成](#)

[構造データ出力](#)

[過程データ出力](#)

(4)またしばらく時間がたったら、左メニューの「データ出力」をクリックします。

(5)表示のようなボタンが3つ表示される画面が表示されたら、「構造データ出力」または「過程データ出力」を押下してダウンロードします。

このページが表示されました

© Toshiba Solutions Corporation 2005

インターネット

資料7

看護QIプログラムWebシステムについての

アンケート

看護 QI プログラム Web システムについてのアンケート

この度は、看護 QI プログラムによる WEB 自己評価をお受けいただきありがとうございました。ご承知のように、このプログラムは精錬作業の段階にあり、お受けになった方々からの直接のフィードバックが貴重な資料となります。そこで、入力を行って見て以下の項目にご意見を頂きたく、お願い申し上げます。アンケートによって得たデータは、この研究以外に用いることはありません。項目によって答えたくない場合は、記入しないでお出しただいて結構です。

あなたはどの評価について入力しましたか？当てはまるものに○をつけてください。

1. 構造評価

2. 過程評価

1. 過程評価に答えていただいた方にお聞きします。患者の選定についてわかりやすかったですか？

よくわかった まあまあわかった ふつう あまりわからなかった わからなかった

2. 構造評価に答えていただいた方にお聞きします。点検する資料や事柄、場所についてはわかりやすかったですか？

よくわかった まあまあわかった ふつう あまりわからなかった わからなかった

3. 入力の手順はわかりやすかったですか？

よくわかった まあまあわかった ふつう あまりわからなかった わからなかった

4. 画面上の質問は見やすかったですか？

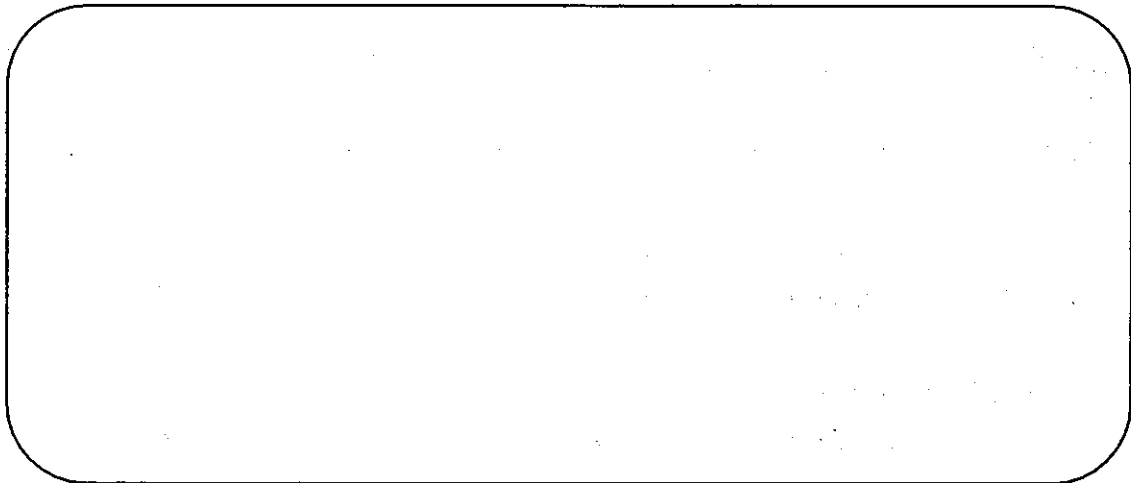
よくわかった まあまあわかった ふつう あまりわからなかった わからなかった

5. 質問の意味がわかりやすかったですか？

よくわかった まあまあわかった ふつう あまりわからなかった わからなかった

質問の意味や言葉の表現で不明な点、理解しにくかった点をあげてください。

6. 入力操作はわかりやすかったですか？
よくわかった　まあまあわかった　ふつう　あまりわからなかった　わからなかった
7. 今回の評価を受けることは病棟の負担として重く感じられましたか？
感じなかった　あまり感じなかった　ふつう　少し感じた　とても感じた
8. 時間的な負担を感じましたか？
感じなかった　あまり感じなかった　ふつう　少し感じた　とても感じた
9. 精神的な負担を感じましたか？
感じなかった　あまり感じなかった　ふつう　少し感じた　とても感じた
10. どのくらいの間隔でこの評価を受けることができると思われましたか？
3ヶ月間隔、6ヶ月間隔、1年間隔、3年間隔、5年間隔、その他（ ）
11. その他項目以外のことでもお気づきの点など自由にお書きください。



御協力ありがとうございました。

平成16年度 厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究班

研究代表者：片田範子（兵庫県立大学看護学部）

分担研究者：内布敦子（兵庫県立大学看護学部）、上泉和子（青森県立保健大学）

栗屋典子（大分県立看護科学大学）、桜井礼子（大分県立看護科学大学）

坂下玲子（兵庫県立大学看護学部）、鄭佳紅（青森県立保健大学）

大塚奈央子（兵庫県立大学看護学部）

連絡先：〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71 兵庫県立大学 内布敦子：078-925-9435

資料 8

看護ケアの質評価・改善システム企画書

看護ケアの質評価・改善システム
システム企画書

東芝ソリューション(株)

SI 技術開発センター

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. はじめに..... | 4 |
| 2. 情報システム化の基本方針..... | 5 |
| 2.1 情報システム化の利点 | 5 |
| 2.2 情報システム化の目的 | 5 |
| 3. 看護ケアの質評価の評価フロー | 6 |
| 3.1 自己評価の現行の評価フロー | 6 |
| 3.2 情報システム導入後の評価フロー | 7 |
| 3.3 看護ケアの質向上化の活動とシステムの運用..... | 8 |
| 4. 試行版システム仕様..... | 9 |
| 4.1 試行版システムの概要 | 9 |
| 4.2 情報システムの構成..... | 9 |
| 4.3 平成 16 年度に行った実装及び設計の改善点..... | 10 |
| 5. 看護ケアの質評価システム仕様 | 11 |
| 5.1 情報システムの構成..... | 11 |
| 5.2 データフロー | 11 |
| 5.3 ソフトウェア仕様..... | 12 |
| 5.3.1 ユーザ権限種別..... | 12 |
| 5.3.2 画面遷移..... | 12 |
| 5.3.3 一般入力者用初期選択機能 | 15 |
| 5.3.4 一般入力者用入力機能 | 16 |
| 5.3.5 管理者用データ閲覧機能..... | 20 |
| 5.3.6 アウトカム評価入力機能..... | 21 |
| 5.3.7 管理者用集計機能 | 22 |
| 5.3.8 データベース構造 | 25 |
| 6. 情報システム化で考慮すべき点 | 32 |
| 6.1 情報セキュリティ | 32 |
| 6.2 複数の利用者間の情報共有、情報管理 | 33 |
| 6.3 システム運用 | 34 |

| | | |
|-------|----------------------------------|----|
| 6.4 | データ分析について..... | 34 |
| 6.5 | ミドルウェアに依存しないアプリケーションの汎用化 | 34 |
| 6.6 | ナレッジマネジメント技術の活用..... | 35 |
| 7. | ナレッジマネジメント技術の活用..... | 36 |
| 7.1 | ナレッジマネジメントによる病院連携情報共有システム構想..... | 36 |
| 7.2 | ナレッジマネジメント技術の活用..... | 37 |
| 7.2.1 | ナレッジマネジメント実施例..... | 37 |
| 7.2.2 | ナレッジマネジメント技術の具体的活用例..... | 38 |
| 7.2.3 | ナレッジマネジメント実施にあたり考慮すべき事項..... | 40 |
| 7.3 | ナレッジマネジメントを活用したシステム例..... | 40 |
| 7.3.1 | 過程自己評価へのテキストマイニング適用イメージ..... | 40 |
| 7.3.2 | テキストマイニング技術の概要 | 41 |
| 7.3.3 | 過程自己評価の辞書登録表現例 | 42 |
| 8. | まとめ..... | 44 |

1. はじめに

本書は、看護ケアの質評価・改善システム（以下、原則として看護ケアの質評価システムという）の情報システム企画について述べる。

平成16年度は、それまでの研究をふまえて、改良を加えた施行版を開発し、実際の病棟で試行適応させてみた。さらに、今後、看護ケアの質評価システムで、開発すべきシステムの要件と、情報システム化を行う上で考慮すべき点の考察の充実化をはかった。